

# JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	北海道	(2)記載者氏名:	長谷川 雄助	会員番号:	6103	事務局整理記入欄	北海道 - 10
分水嶺区分	H122 境界峠～H123 P519	(3)山行日:	2004年	2月	1日	(4)天候	晴 積雪2m

(5)参加者氏名および会員番号				サポート要員氏名および会員番号			
長谷川 雄助	6103	三野 智大	会友				
中村 喜吉	10978						
樋口 みな子	13442						
三野 裕輝	会友						
計			5名	計			名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略: R274夕張市・穂別町境界峠～ 519.1～ヒグラシ沢林道国道入り口													
アプローチ: 往路:札幌市～R274境界峠(87km) 帰路:林道終点(稜線)～R274出合(10km)～札幌市													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特 記
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	境界峠	十三里	142	7	7.1	42	55	4.7	375		10:00		1
分水嶺到達点H122	境界峠	"											
	送電線下	"	142	6	47.2	42	54	55.5	481	10:40	11:05		2
	540	"	142	6	37.9	42	54	53.7	540	12:00	12:20		4
H123	519.1	"	142	6	21.7	42	54	2.6	519	12:50	13:40		3, 4, 5, 6
分水嶺離別点	林道終点	"	142	6	10.0	42	53	19.3	388	16:00	16:20		4, 5, 6
歩行終了点	穂別キャンプ場	稲里								17:45			
総歩行時間(休憩時間を除く):											6時間50分		
											分水嶺	4.1km	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H123	519P	不明	不明	不明	石は、積雪のため不明。丸太で組んだ標柱が損壊状態で立つ。

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

1. 境界峠の旧道に、旧型の夕張市と穂別町の境界標識があり、分水嶺と分かる。
2. 送電線鉄柱には「電源開発(株)十勝幹線No.361」の標識がある。
3. 519の南斜面は、土砂崩落が激しく垂直に近い崖が形成されているが、地形図上では標記されていない。

(9)水および植生に関連した特記事項

4. 分水嶺稜線の東側は緩斜面で、自生のトドマツ、エゾマツとキハダ、ダケカンバなどの巨木が点在している。
5. 西側はシークルキ川に向かって急傾斜地となり、トドマツなどの小径木が多く、雪崩などで大きく育たない。
6. 稜線は狭いが、ミズナラ、カツラなどの巨木が伐採されずに残っている。

(10)その他の特記事項

7. 540～ 519.1～林道終点までの分水嶺稜線は、高低差10mから50mのヤセ尾根が続き、尾根の西側はほとんどが崖地。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 519の三角点標示の木製標柱の損壊状況

山行報告書(続き)  
表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。

